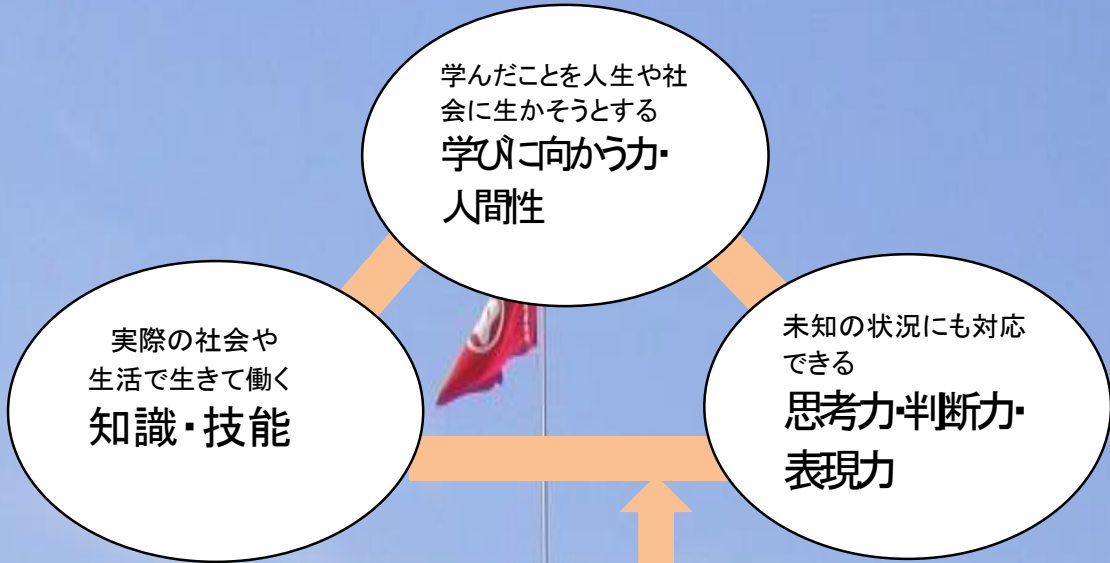


教育目標
 目標をもち 自ら考え ねばり強く実践する生徒

目指す学校像
 笑顔あふれる学校、魅力ある学校
 ～保護者・地域とともに歩む学校づくり～

感染症に負けない力と生徒の可能性を引き出すために必要となる資質・能力の柱



「新しい時代に必要となる資質・能力」を育成する工夫

一人一台タブレットの有効活用

各教科

- UDLの視点を活かした授業
- 「思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫
- 体力向上の工夫
- 自ら取り組む家庭学習の工夫

総合的な学習

- 課題解決の重視
- しばたの心継承プロジェクトの取組
- 食育の推進
- キャリア教育の推進

道徳

- 「考え、議論する道徳」の実践
- いじめを許さない態度の育成
- 「道徳科」を要に全教育活動で実践
- 人権教育、同和教育の実践

特別活動

- 学校行事の充実
 - ・主体性を伸ばす体育祭
 - ・達成感を味わう合唱コンクール
- 主体性、協調性、社会性を伸ばす部活動
- メディア接触をコントロールする力の育成

生徒と向き合うゆとりの確保

- 業務の効率化
- 部活動の適正化
 - ・適正な休止日の設定
 - ・部活動設置数の見直し

知の分野

生徒アンケートにおいて、

- 1 「授業が分かる」について肯定的な回答をする生徒を90%以上にする。(知識・技能)
- 2 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」で肯定的な回答をする生徒を80%以上にする。(思・判・表)
- 3 「授業で学んだことを、他の学習に生かしている」で肯定的な回答をする生徒を80%以上にする。(学び・人間)

徳の分野

生徒アンケートにおいて、

- 1 「いじめはどんな理由があってもいけない」について肯定的な回答をする生徒を100%にする。(知識・技能)
- 2 「いじめは始める側の人の問題である」で肯定的な回答をする生徒を100%にする。(思・判・表)
- 3 「自分は人の役に立ちたい」で肯定的な回答をする生徒を95%以上にする。(学び・人間)

体の分野

- 1 体力テストで県平均以上となる割合を75%以上とする。(知識・技能)
- 2 平日のメディア接触時間が2時間以内の生徒を全体の75%以上にする。(思・判・表)
- 3 「健康で安全な生活のために、自分なりの工夫をしている」で肯定的な回答をする生徒を80%以上にする。(学び・人間)